『新しい公共』についての考え方　（円卓会議での研究提案）

地球に優しい農村は　人間にとってステキなところです

KAMIKATSU 上勝町

平成22年3月25日
第4回「新しい公共」円卓会議
横石知二委員提出資料

以下の前提をもとに、「新しい公共」円卓会議での検討が必要な内容をご提案致します。

「新しい公共」円卓会議の目的

1．首相がはじめての国会開催にあたって行った所信表明演説で打ち出した「新しい公共」というビジョンの普及と促進について議論を深める。

2．「新しい公共」のスピリットを、市民、企業、行政などに広く浸透させ、ひとりひとりが「居場所と出番」があると感じることができる、公正で活気ある社会を作るというこれからの日本社会の大きな方向性を示し、それを実現させるための広い意味での社会制度や具体的なアクションにつながる方策などについて提案を行う。

「新しい公共」とは

従来の地域コミュニティに変わる新たなコミュニティづくり・・・・・「新しい公共」とは、人を支えるという役割を、「官」と言われる人たちだけが担うのではなく、教育や子育て、街づくり、防犯や防災、医療や福祉などに地域でかかわっておられる方々一人ひとりにも参加していただき、それを社会全体として応援しようという新しい価値観です。（所信表明演説）

意識的、自発的にテーマを定め、生活現場から立ち上げるという『自立・自発性』『市民性』が必要。

「居場所」と「出番」とは

「人間の究極の幸せは、愛されること、ほめられること、役に立つこと、必要とされること。働くことによって愛以外の三つの幸せが得られるのです」

「その愛も一生懸命働くことによって得られるものだと思う」（チョーク会社の社長がご住職から聞いた話を、鳩山総理が所信表明演説で紹介）

国、地方、そして国民が一体となり、すべての人々が互いの存在をかけがえのないものだと感じあえる日本を実現するために、また、一人ひとりが「居場 所と出番」を見いだすことのできる「支え合って生きていく日本」を実現する。（所信表明演説）

「新しい公共」の背景

民と官の中間領域として『公』がある。昔は近隣住民などを中心にした地域コミュニティ（共同体）が担ってきた。しかし経済発展と都市化、さらには急激なグローバリゼーションとIT革命による情報の一極集中の中で、市民が分断され孤立してきた。大事な人間同士の関係性や社会性が失われつつあり、意識的にコミュニティの再生を図る必要がある。

人間は競争社会で勝利すること自体に喜びを見いだすのではない。コミュニティの中に自分の居場所があり、他人の役に立つことに喜びを見いだすことが重要だと多くの人が気付き始めている。

「新しい公共」円卓会議での検討内容（提案）

※旧来型の“公”組織とは、従来からある地域コミュニティ組織

1　国民の居場所と出番づくりの議論	・どのような「居場所」と「出番」が必要なのか ・どうすれば、地域の中で「居場所」と「出番」ができるのか
2　旧来型の“公”組織の現状と課題整理	・旧来型の“公”組織とは ①公益法人、特殊法人第三セクターなど　②自治会（町内会）、消防団、公民館活動、体育協会、老人会、女性の会（婦人会）など　③ＰＴＡ、子供会、スポーツ少年団など　④協同組合（農協、生協）など　⑤檀家、氏子、祭り保存会などの組織の現状と課題を整理（大都市以外は、旧来型の“公”組織が主流）
3　旧来型の“公”組織の活性化方策	・旧来型“公”組織の課題解決策を検討（旧来型“公”組織の特徴、問題点、解決策を検討する） ・旧来型“公”組織の活性化方策を検討（「新しい公共」の前に、旧来型の“公”組織で出来ることもある）
4　「新しい公共」の必要性	・旧来型の“公”組織では出来ないことや無駄などを、事業仕分けも含めて整理、検討 ・「新しい公共」が必要な理由を検討、整理
5　地域コミュニティ推進のための施策	・旧来型の“公”組織を「新しい公共」に移行、「新しい公共」の設立促進 ・旧来型の“公”組織や「新しい公共」による、地域コミュニティ推進のための各種施策を検討 ・公益認定基準の緩和、税制優遇措置、寄付金控除、新たな法人制度（社会事業法人、労働協同組合等）、その他施策
6　国民の居場所と出番づくり	・全ての国民が「新しい公共」で「居場所」と「出番」をつくるための方策を検討 ・居場所と出番づくり支援のための事業検討
7　鳩山政権の政策の中での位置づけ	・鳩山政権の政策の柱として、「新しい公共」制作を位置づけ、国民の「居場所」と「出番」づくりを提唱 ・他の各種政策との関連性を示すことで、政策の重要性を明確にする
8　推進プロジェクト	・「新しい公共」を推進するための国の組織（全省庁の上位組織）と円卓会議メンバーの居場所と出番 ・「新しい公共」を推進するための都道府県、市町村の組織の提案

「新しい公共」としてのいろどりコミュニティ

地球に優しい農村は　人間にとってステキなところです

葉っぱの町 KAMIKATSU 上勝町

いろどり農業の効用

幸福度100%

↓ ①いろどりで　所得向上
いろどりで農業所得が向上

↓ ②いろどりで　健康維持増進
生涯現役で元気に働き、健康維持増進

↓ ③いろどりで　知的学習
パソコン習得で頭も冴える生涯学習

↓ ④いろどりで　国土保全
いろどり用植物植栽で里山の活用・保全

↓ ⑤いろどりで　環境保全
無農薬農業で生物多様性を守り環境保全

↓ ⑥いろどりで　交流産業振興
交流が生まれ、観光交流産業振興

↓ ⑦いろどりで　内需拡大
家の新築、増改築で住宅関連の需要拡大

↓ ⑧いろどりで　ＵＩターン促進
子どもや孫がUターンし、Ｉターン移住者も急増

いろどり人生　バンザ～イ！

※いろどり：つまもの／人生の・生活の・仕事の・学びの地域のいろどり

葉っぱが　季節の変化と年中行事を、そして、里山の植生を教えてくれました。
葉っぱが　人々の心を豊かにしてくれました。人々の生活を豊かにしてくれました。
葉っぱが　まちを豊かにしてくれました。
株式会社いろどりは、人々の心を彩る「いろどりコミュニティ」を目指します。

（株）いろどりは“いろどりコミュニティ”

町民の心を彩る いろどりコミュニティ

社会起業の支援
インキュベーション機能

ＵＩターン移住者を中心に、社会起業希望者の自立支援と起業促進

いろどり文化の創造
美しい上勝づくり

植生復元による里山再生、押し葉芸術など、いろどり文化の創造と普及

雇用創造

いろどりツーリズム推進
農村型交流産業おこし

農村型の交流産業を興し グリーンツーリズムを推進

交流、文化創造

コミュニティづくり
いろどりを通じて交流

いろどり農家の交流促進と コミュニティづくりを応援

地域産業振興

マーケティング支援
いろどり販売促進のための

いろどりのマーケティング支援による需要拡大と販売促進

産業振興
上勝の農業・産業

菌床椎茸、香酸柑橘、阿波晩茶その他農林業及び産業振興

人間の究極の幸せは
・愛されること
・ほめられること
・役に立つこと
・必要とされること（総理の所信表明演説より）
そして
いろどりコミュニティで主役になれる →

いろどりで居場所と出番づくり

“いろどり”で　しあわせ！